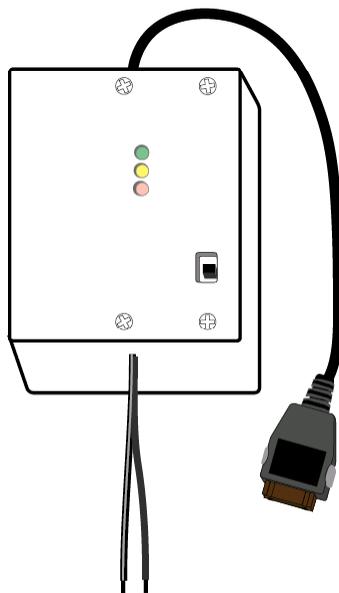


非常通報装置

White Lock 991DG

外部接点入力タイプ

かんたんマニュアル



※本書は製品をすぐに使ってみたい方向けのものです。詳しい説明は別冊の取扱説明書をご覧ください。

※本書に記載されている内容は、予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

※本書の内容を無断で転載することは禁止されています。

はじめに

本書では「WhiteLock991DG（外部接点入力タイプ）」を、本製品と記述しています。

本製品はセンサーからの検知信号を携帯電話で通報する装置です。

センサーは、無電圧 a 接点のものに限ります。

通報方法は、「タダ電通報」「出るまで通報」「携帯メール通報」3種類がありますが、この「簡単マニュアル」では「タダ電通報」「出るまで通報」の設定と動作確認方法を記述致します。

取扱説明書の1～6 ページもあわせて必ずご覧戴きますようお願い致します。

- ・ 「携帯メール通報」をご使用になりたい方は本書設定後、取扱説明書の「通報の種類」をご覧ください。
- ・ 設置方法につきましては本書設定後、取扱説明書の「設置と運用」をご覧ください。

※ 注意事項

監視中（通報しないとき）は、本製品に接続された携帯電話の電源を自動的にOFFにし、携帯電話のバッテリーの消耗を抑えます。本製品の電池残量が少なくなると自動的に通報を行います。携帯電話の充電が切れた後は通報いたしません。

通報か、電池電圧低下の通報かの確認方法は通報元に電話をかけることで行えます。呼び出し音が鳴ったときは電池電圧低下の警報です。詳しくは、取扱説明書、「設置と運用」の「タイプ共通」をご覧ください。デジタル式携帯電話機のみ接続できます。デジタル携帯電話機の種類によっては、正常に動作しない機種もございますのでご注意下さい。

接続可能な携帯メール電話の機種については、弊社ホームページ (<http://www.adocon.co.jp/>) の「対応携帯電話」にてご確認ください。

※ a u の CdmaOne、また、PHS、FOMA には対応していません。

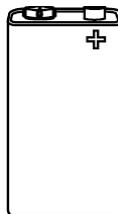
必要なものを用意する

動作確認を行うために、以下の必要なものを準備してください。

また、本書の動作確認では、センサーなどは必要ありません。



WhiteLock991DG



アルカリ電池
006P 9V
(新しいもの)

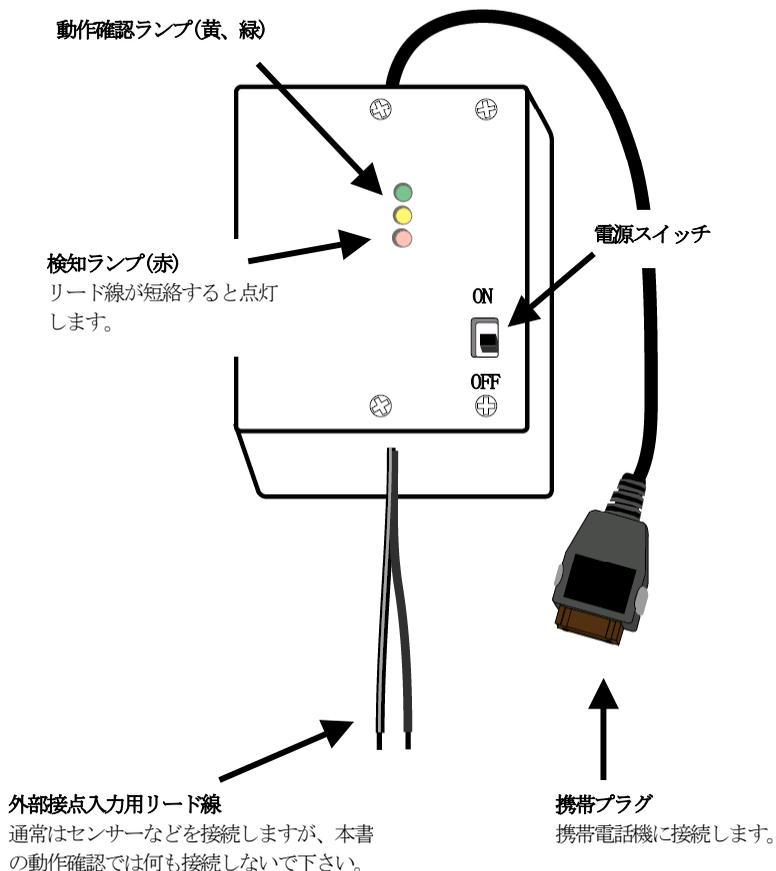


本製品と接続する
携帯電話機
(充電済みのもの)



通報を受ける電話機
(携帯電話機、PHS、
ナンバーディスプレイ対
応の電話機)

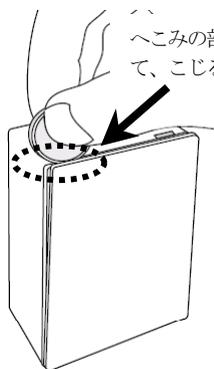
外部接点入力タイプの外観



※携帯プラグやリード線に無理な力が加わると、破損する恐れがあります。
設置時や設置後、輸送時には携帯プラグやリード線の取り扱いには慎重に行ってください。

本製品内部

1円玉などのコインを利用して本製品の背面カバー下の隙間をこじるとカバーが容易に外れます。
電池の交換または設定スイッチを操作するとき以外は、背面カバーを開けて下さい。



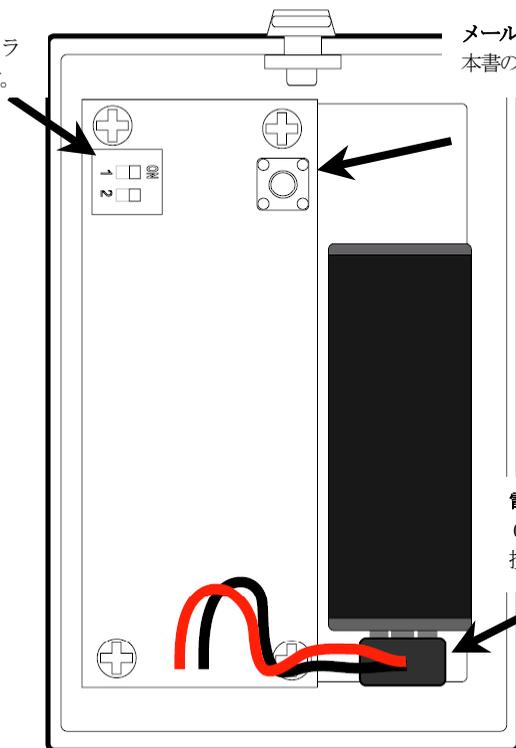
ケース内部

設定スイッチ

動作を設定するスライドスイッチです。

メール送信先登録スイッチ

本書のテストでは使用しません。



「タダ電通報」を使った動作確認

一番簡単な「タダ電通報」で動作確認を行います。

「タダ電通報」とは、通報先の電話機のベルを鳴らすだけの通報です。通報先の電話機に表示される発信者番号で通報を確認します。

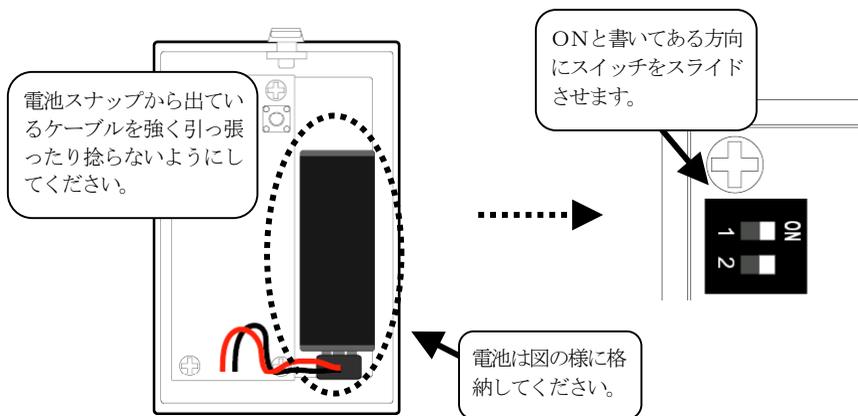
① 電池の取り付けと本製品の設定

背面カバーを開けて、新しい電池をしっかりと取り付けてください。

電池を取り付けたら、内部の設定スイッチの1と2をONにします。

スイッチを指でスライドさせにくい場合は、爪楊枝などを利用すると便利です。

スイッチの設定が終わったら、向きに気をつけて背面カバーを閉じて下さい。



※ 内部の設定スイッチの1をOFF、2をONにすると「出るまで通報」の設定になります。

② 携帯電話機の設定

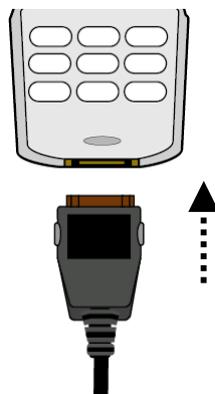
本製品に接続する携帯電話機に通報先の電話番号を登録します。
登録先は、メモリダイヤルの「001」番です。携帯電話機の種類によってはメモリダイヤルの番号が「000」番の場合もあります。
また、通報先を登録したいメモリ番号が登録済みの場合は、既存の登録内容を別のメモリ番号に変更してから通報先を登録して下さい。
電話番号登録後、発信者番号は必ず通知するように設定して下さい。



- ※携帯電話機の操作については、携帯電話機に付属の取扱説明書をご覧ください。
- ※一部機種メモリダイヤルの位置についての情報は、弊社製品サイトで確認いただけます。
- ※各携帯電話機によって電話番号を設定する場所のことを、「メモリダイヤル」、「電話帳」、「短縮ダイヤル」、「短縮グループ」など様々な名称になっていますのでご注意ください。
- ※暗証番号（パスワード）の設定によっては発信できない場合があります。この場合は出荷時の状態に設定してください。
- ※携帯電話機がキーロック（暗証番号を入力しないと使えない状態）にしてあると発信できない機種があります。このときはキーロックを解除した状態でご利用ください。

③ 携帯電話機と本製品の接続

本製品の電源をOFFにして、本製品の携帯プラグを携帯電話機に接続して下さい。
コネクタは、「カチッ」と音がしてロックされるように差し込みます。
※外す場合は携帯プラグ両側のロックボタンをつまみながら引き抜いてください。
このとき、携帯電話の電源は自動的にOFFになります。



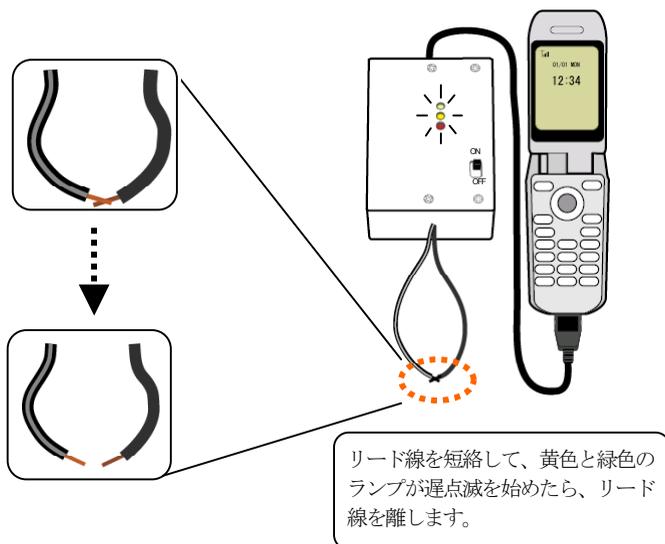
④ 動作確認をする

この動作確認では、センサーなどを取り付けないで下さい。

1. リード線を離れた状態で、本製品の電源をONにすると、動作確認ランプの緑色が1回だけ点灯して直ぐに消灯します。



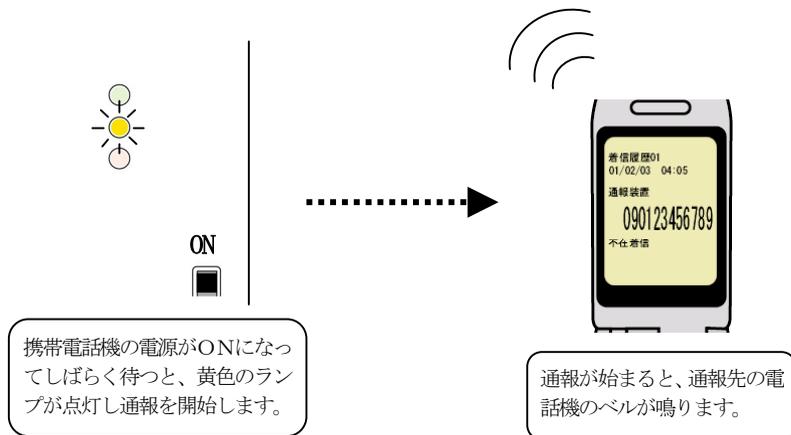
2. 本製品のリード線を短絡（リード線を接触）させて下さい。検知ランプ（赤色）が点灯し、動作確認ランプの黄色と緑色がゆっくりと点滅を開始し、携帯電話機の電源がONになりますので、リード線を離して下さい。



3. 携帯電話機の電源がONになってから、しばらく待つと動作確認ランプの黄色が点灯し、通報を開始します。

通報が始まったら通報先の電話機のリベルが数回鳴って切れます。

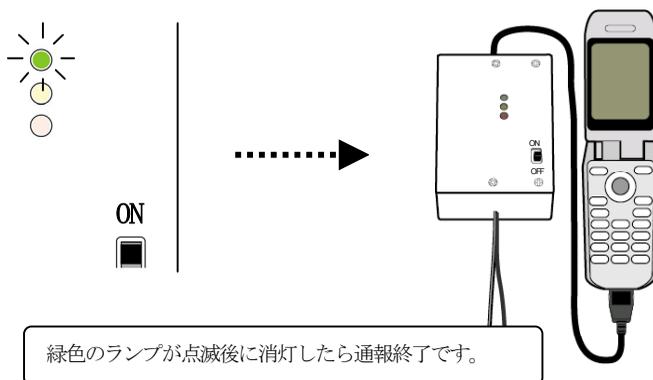
このとき検知ランプ（赤色）が点灯または点滅しても問題ありません。



4. 通報が終わると、緑色のランプが高速点滅後に携帯電話機の電源がOFFになります。

以上で、「タダ電通報」の動作確認は終了です。

本体の電源スイッチをOFFにして動作確認を終了してください。



※正常に通報を終了しなかった場合は、黄色ランプが点滅をしてからリダイヤルを行います。

リダイヤル動作を行うときは、次ページをご覧ください。

※ランプが全て消灯してから接点を短絡させると、再び通報を行います。

※その他の設定は取扱説明書をご覧ください。

正常に通報が出来なかったとき

通報時に、何らかの状態で通報を完了していないと判断したときは、電話を切って10秒待機した後、リダイヤルを行います。(動作確認ランプの黄色がゆっくり点滅)

この動作は通報が完了するまで何回でも繰り返します。

また、リダイヤルを何回も繰り返すと、本製品および携帯電話機の電池の消費が多くなります。

通報出来ない、主な原因としては以下の場合があります。

- ・本製品と携帯電話機のケーブルが外れている。
- ・携帯電話機のバッテリーがなくなっている。
- ・携帯電話機に登録した電話番号が間違っている。
- ・通報先の携帯電話機やPHSが圏外になっていたり、電源を切っている場合。
- ・通報先が話中の場合。
- ・本製品に接続した携帯電話機が圏外になっている場合。

更新履歴

2005/03/31 Ver 0.7

住所を変更

2004/10/04 Ver 0.6

「はじめに」を追加修正

「WhiteLock991D」

外部接点入力タイプ

かんたんマニュアル

本書 Ver 0.8

改版 2005年 6月

発行元 株式会社 アドコン

<http://www.adocon.co.jp/>

本社 TEL (0852) 54-2036 FAX (0852) 54-2196
〒690-2101 島根県松江市八雲町日吉 3-24

東京営業所 TEL (050) 8005-3069 FAX (03) 3784-1421
〒142-0053 東京都品川区中延 5-7-16